



怪異

研究所

の

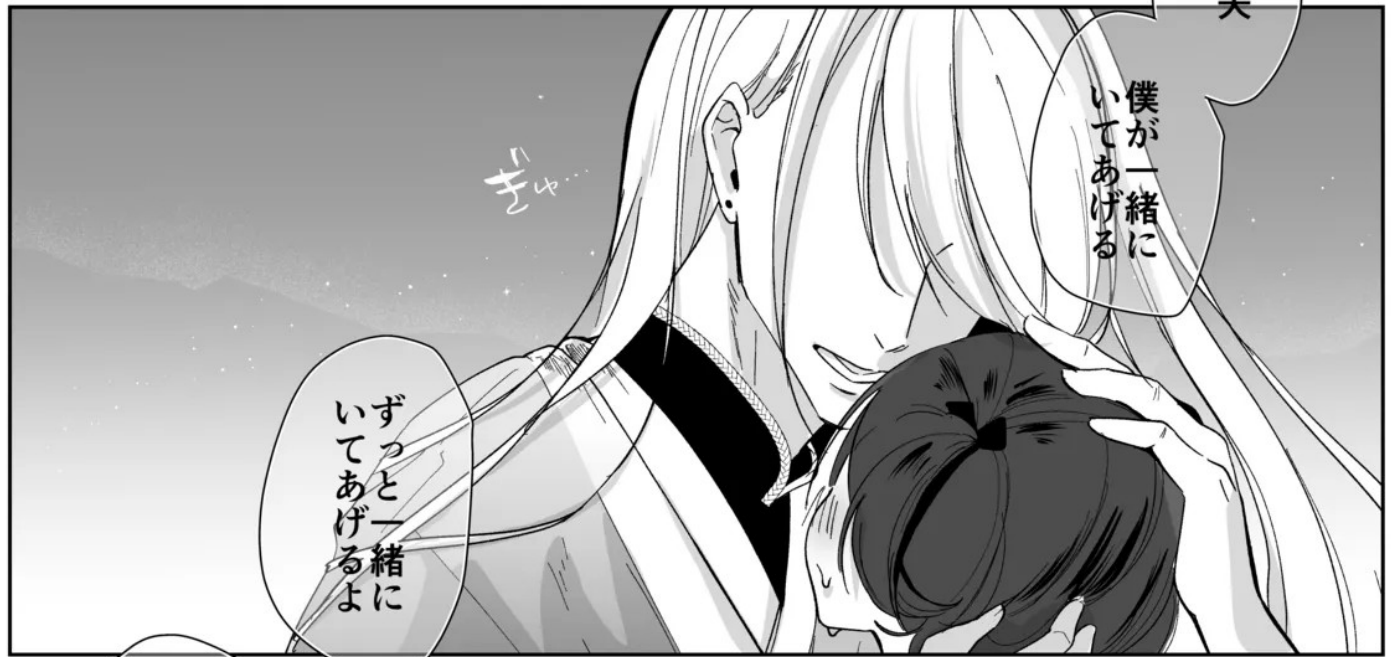
前編

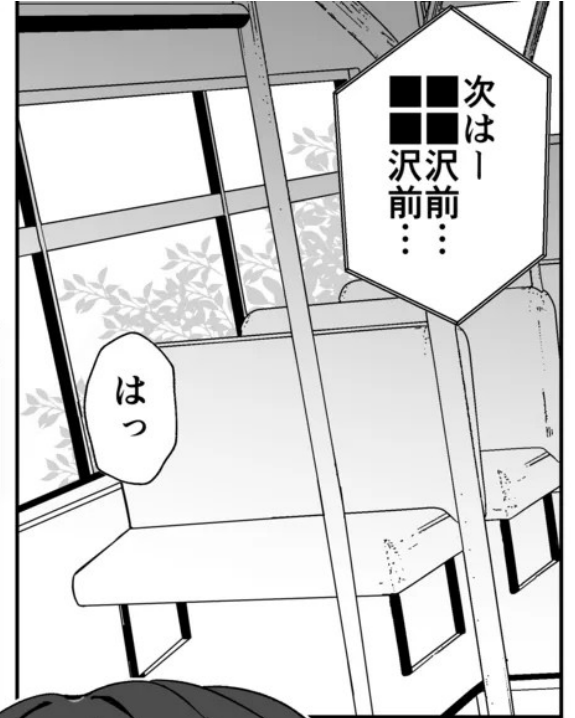
月見里

さん

『執着系怪異の甘々触手攻めで堕とされる』

Presented by
おむすびころりん









その主たる機関が
この国立怪異研究所

わたしの
職場でもある



そして数年ぶりに
地元へ帰ってきたのは…



かつて超常現象と
言われ、排斥
されていた『怪異』

近年の研究により
保管や対処方法が
明確化された

その超人的な力を
脅威とみなし

共存する意向を
政府は示した

また、その力が
国民へ影響が
及ばないよう

政府は
『自国の文化』として
保管、保存を指示した

もしかして
雪乃ちゃん、
あそこへ行くの？

はい…

少し前からあの付近の
住人たちは怪我や病気で
災難続き…

お供えもお祭りも
お祈りも効かない
もんだからね

どうやら
あの敷地内に
足を踏み入ることすら
できないって話だよ

怪異のせいだ
なんて…

昔からあそこには
子供達の守神が
いたのにな…

力が弱く
なっちな
かねえ

私には
心当たりがある

きっと、
きっと彼に…

彼に何か
あったのかも
しれない…

…入るよ







まず長に連絡
したのにつ
拘束されて...ッ









この粘液、
更に熱く...

服が
溶けて...!?

はっ
はっ

やめ、
やめ...っ

にゅるにゅる
にゅるにゅる

お願い、
誰か気づいて...

にゅる
にゅる

誰か...
誰か...

ぬと
ぬと

にゅるにゅる
にゅるにゅる

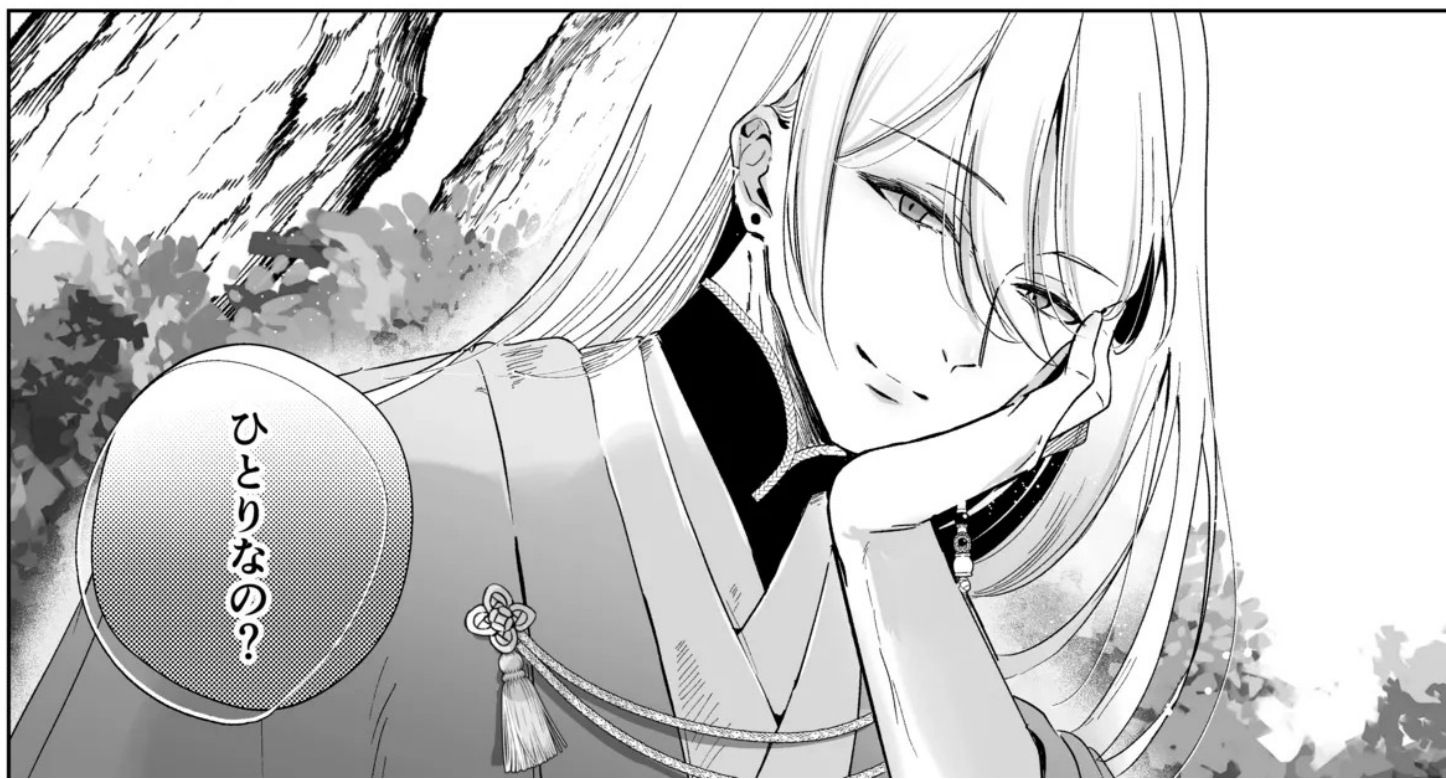
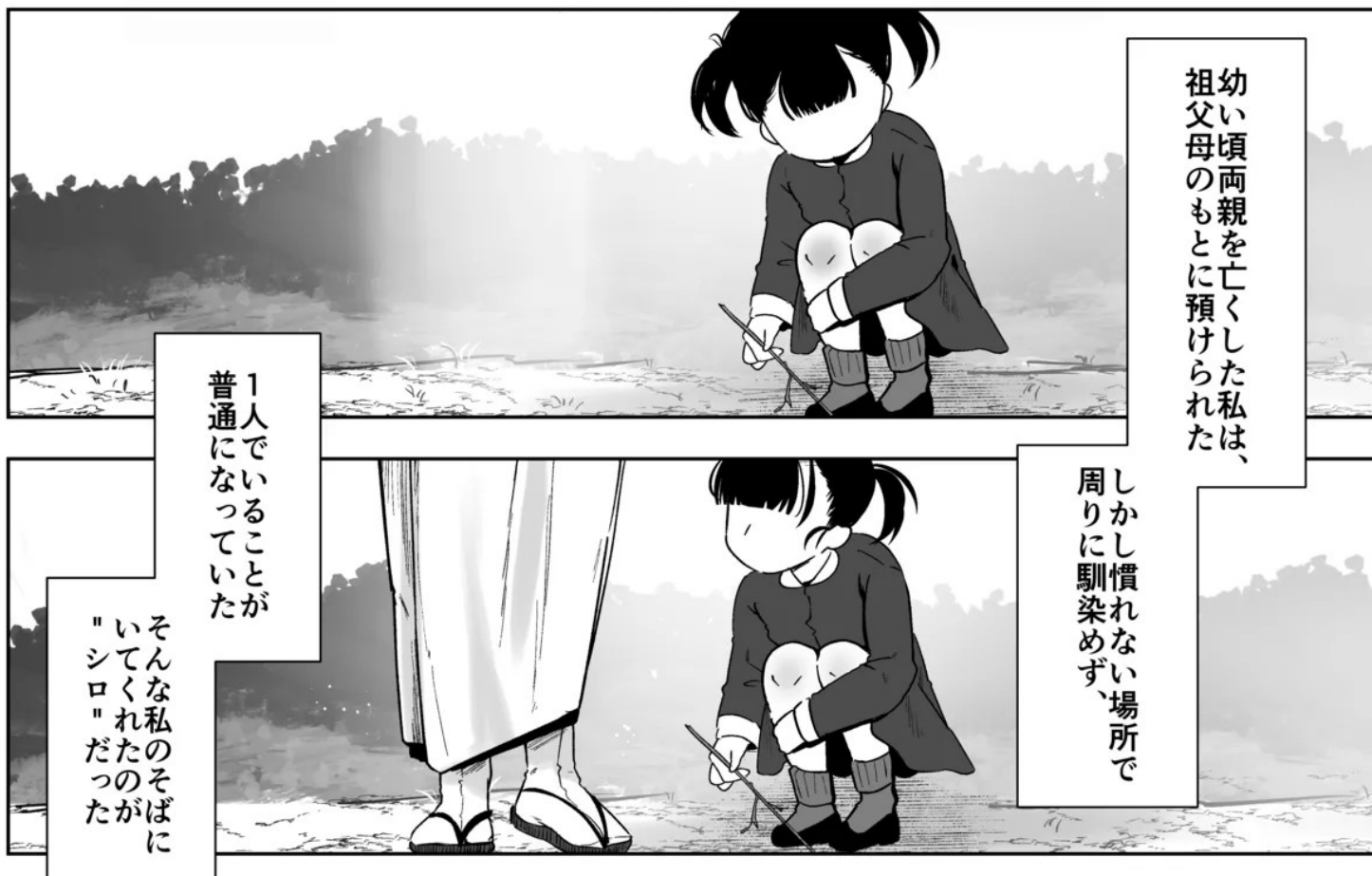
にゅるにゅる
にゅるにゅる

にゅる
にゅる















…もう、
子供扱い
やめてよ



ここ
こないの？

ホーン
ホーン



シロとの
特別な関係は
私が高校生に
なるまで続いた

シロは変わらない
はずなのに

なぜか意識して
しまう自分がいた



あくまでも
シロは人間ではない

このままだと
よくない感情が
湧いてきそうで…

それに、
人間の私では
到底敵わないような

計り知れない
力を持つている彼に
一種の畏れのような
気持ちもあり

いつかシロの
もとへは行かなく
なってしまうた

高校卒業後は
実家から出て大学進学、
今の研究所に入職した

その後祖父母も亡くなり、
あの場所に行くことは
無くなってしまうた

シロのことは
なんとなく
後ろめたくて…

ずっと
忘れられ
ないでいた

そんな折、
あの場所の付近で
原因不明の事故が
相次いでいると聞いた

怪異起因と予想され、
研究所管轄となった

情報を聞いた途端
すぐにシロの姿が
思い浮かんだ

もしかしたら、
シロに何か
あったのかも
しれないと…





なっ、なんで
あんなこと……!

こらこら、
無理しないで

む、村のみんなが
大変な目に
遭ってるって
聞いて……

シロに何か
あったと思って……

……僕？
僕はなんとも
ないよ
ほら、元気

え……？
じゃあ何で……

この辺で不幸なことが
あつたらゆきちゃんか
来てくれるかなと
思ってたんだ

ああ、それは
ゆきちゃんに
会えると
思ったからだよ

本当に帰って
来てくれたね

僕、ずーっと
寂しかったんだよ



そつ、
そんな…っ

そんな理由で
村の人たちを…！

約束破ったのは
ゆきちゃん
でしょう？



それは…

そうだ、
裏切ったのは私だ



結婚しようって
約束したのに

ずっと一緒に
いるって
言ったのに

突然いなく
なっちゃったのは
だーれ？

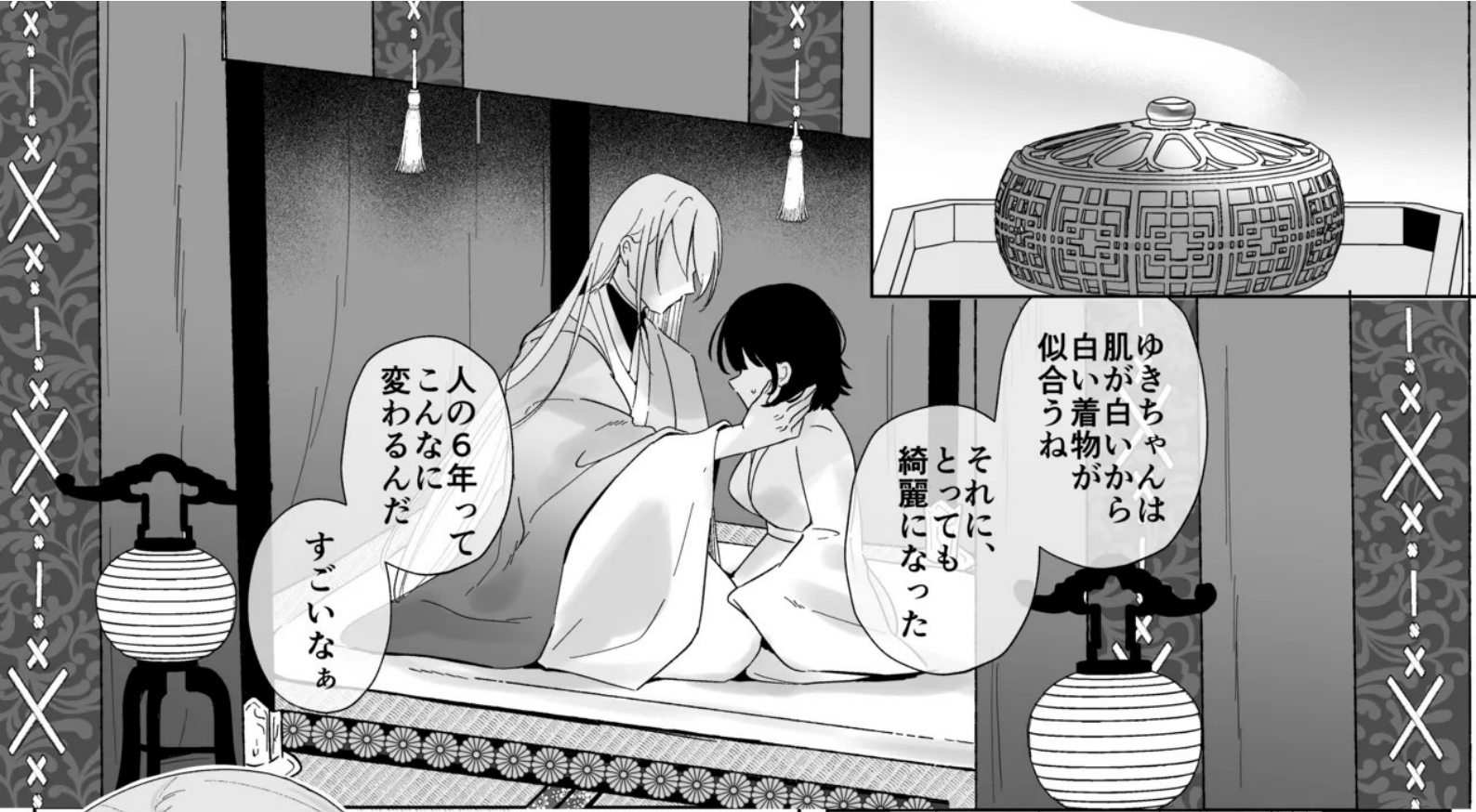


ひとりぼっちの
自分が…

勝手に抛り所を
見つけて

勝手に
手放したんだ





ゆきちゃん
は肌が白
いから
白い着
物が似
合うね

それに、
とっても
綺麗にな
った

人の6年
ってこん
んなに
変わる
んだ

すごいな
あ



ふふ、
前もそん
なこと
言われた
気がする

：僕たち
はこれか
らの契り
を夫婦と
交わすん
だ

この日を
ずっと待
ってた



：もう、子
供じゃな
いから！



大丈夫、
緊張しないで

身を任せて
くれたらいいから

ふふ、
お香の
おかげかな

少し
汗ばんでる

ゆきの為
に調合
してみた
んだ
効果
があっ
たよ

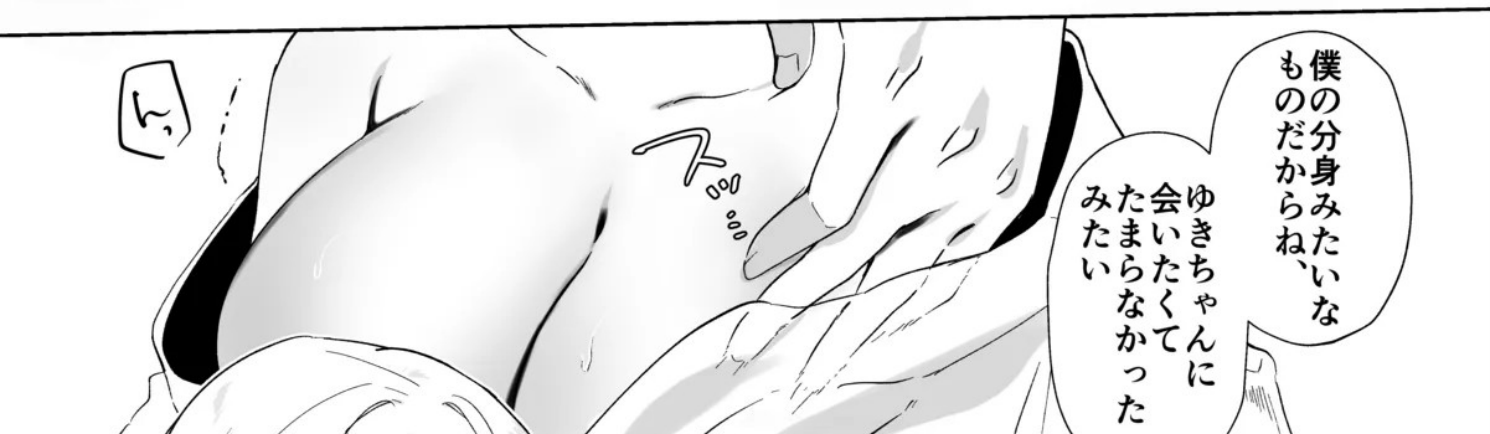
このお香…
媚薬って
ことなの…？

人間で言う
ところかな

感覚に集中
できるようになる

ほら、
触るだけで
気持ちいい
でしょ？

…ッ









ああ、
ごめんね

こっちもたくさん
いじってあげなきゃ

んん…ッ！

ほっ、
えい

十分だと思うけど、
ゆきがもつと
気持ちよく
なれるように
しようか

少し冷たいけど
だんだん温かくな
ってくるからね

…ッひ！

しゅわーん

は、
は、

は、
あ、

は、
ほ、

は、
あ、

温かいって
言うより、
熱くなって…！

は…ッ
はあ…！

なに、
これえっ…！

触手たちの
粘液を濃縮して
精製した媚薬だよ

さらに感度が
上がって
もつと気持ちよく
なれるはず

びんっ♡

びんっ♡

たくさん
塗り込んで
あげるね

おしゃ
おしゃ

にゅ、





楽しんで、
逃げないでね



いっぱい
あげる

ゆきちゃん
ここが大好き
なんだね



そこ...
ばっかり...ッ

あたま、
おかしく
なっちゃ



あ、
い

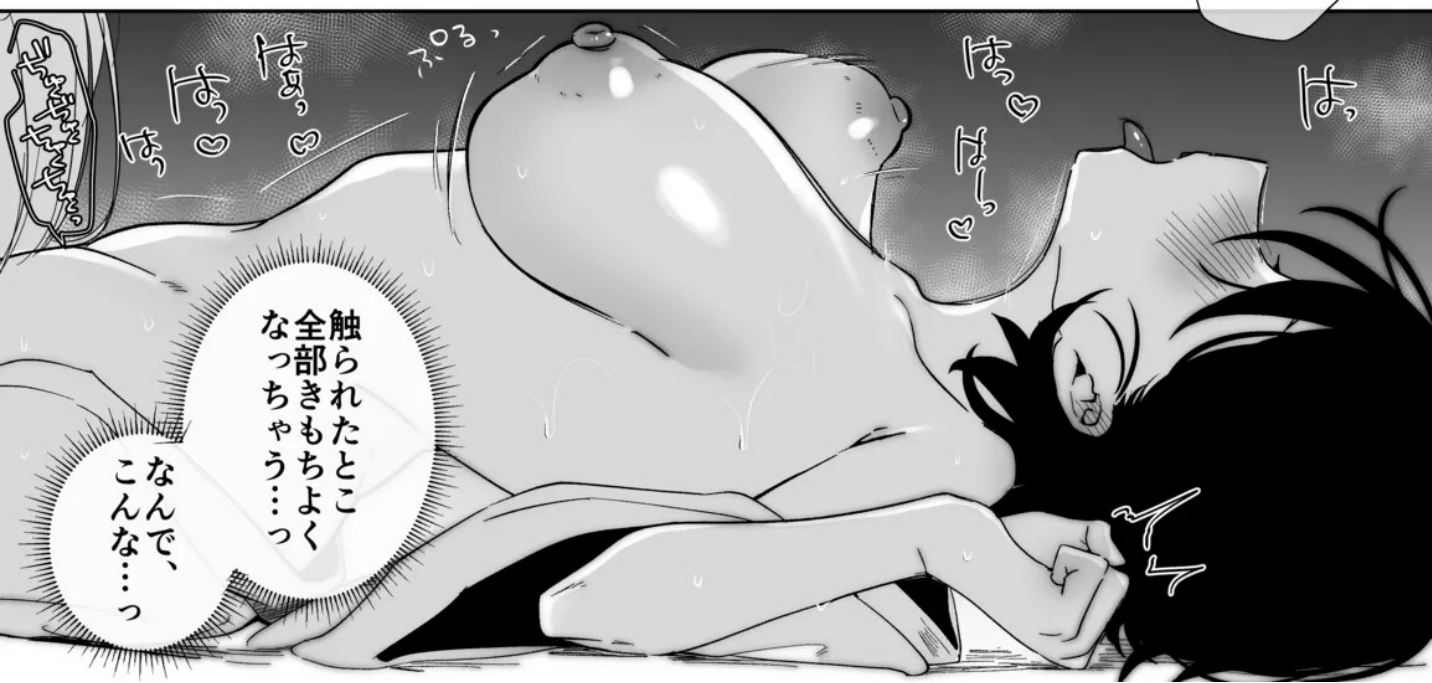
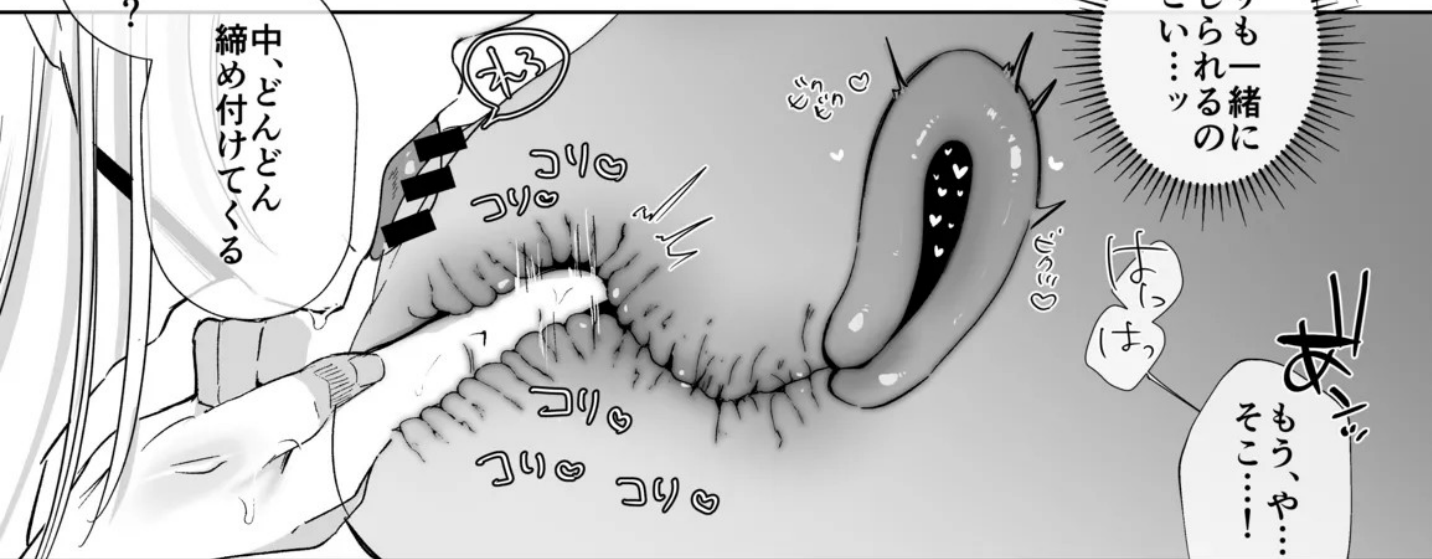
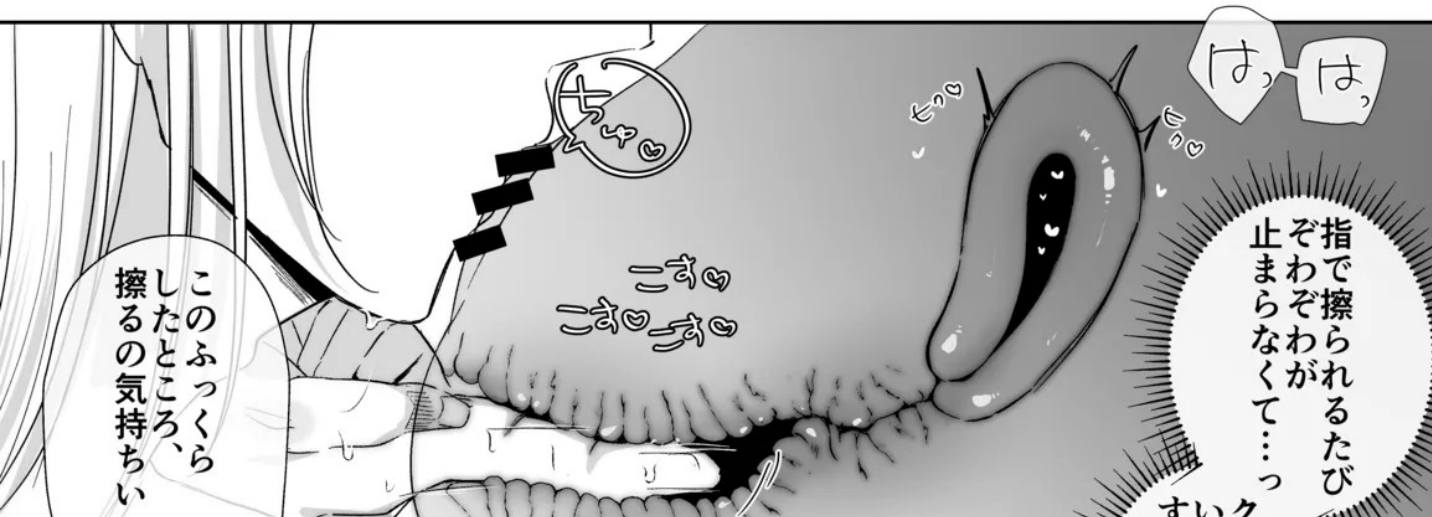
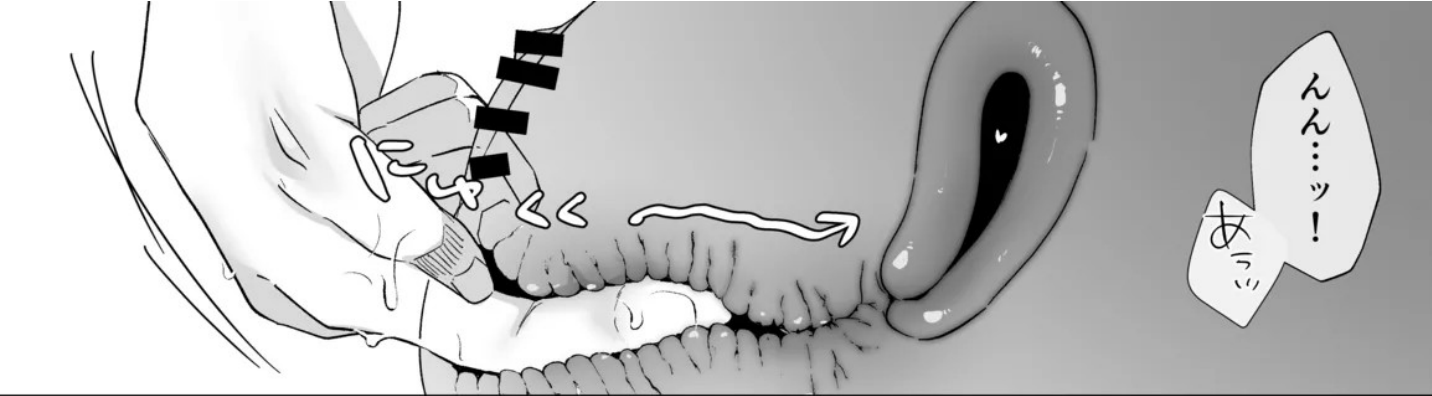


あ、
い



あ、い

あ、い







ゆきちゃんの中、
ぎゅーって
締め付けて
僕の指離さないよ

抜くね？



いっぱい
溢れてくる...

中もふくらまして
うねって...

もう準備、
できたって
ことでいいよね？



僕ももう...
我慢できないんだ

...っ！





…っはあ

ふふ、
全部入った



ここまで、
僕のを全部
飲み込んでる

やっとひとつに
なれたね…
ゆきちゃん

すごい、
ゆきちゃんのナカ
熱くて溶けそう



息が浅くなつて…
吐息が漏れる…

中で、
ぴくって…

いま、シロのが、
ほんとにわたしの
なかに…

はあ



口付けするたびに
きゅんって、
中締まるね…

かわいい

はあ
はい

少し動いても
大丈夫かな



っは…!!

奥っ
奥知らない
ところ…ッ

ゆさぶられて…

おなかひびくッ

なに、これ…ッ

わかんない…!!



気持ちよくて
びっくり
しちゃった?

そんな表情
見たこと
なかった、



あ、こら...
ゆきがあまりにも
かわいいから
この子達も我慢
できなかつたみたい



この子達にも
相手させてあげて

あ、あ、あ
見ないで...ッ♡

体びくびくするの
とまんない...っ
また...ッ
クリと乳首
擦られて...ッ

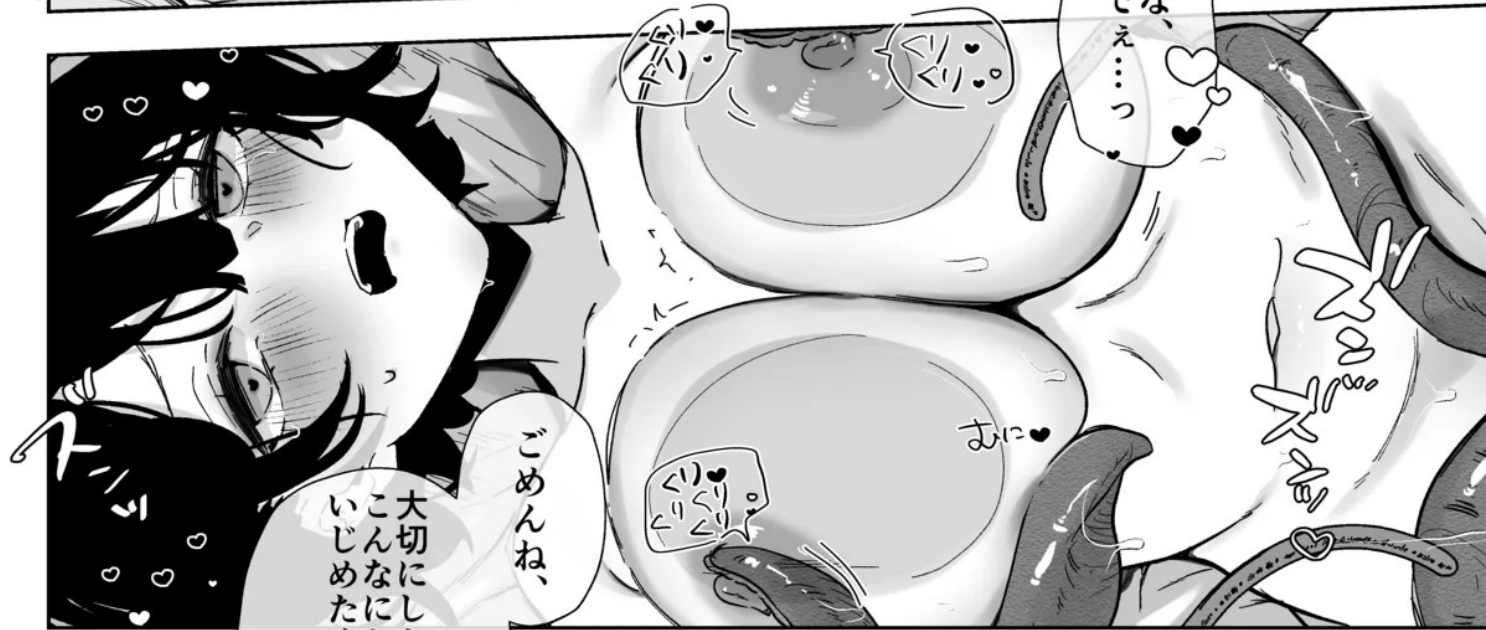


ずーっと
気持ちいいね

中もずっと
痙攣してるみたい...

粘液でまた感度が
上がってきたかな

あ♡
あ♡





触られてるとこ、
ぜんぶ…
ぜんぶ気持ちよくて

あたまた
真っ白になるっ

ズリユッ
ズリユッ

なにも
考えられなくて…

声も
我慢できない…っ

ゆきちゃんの
そのとろけた表情
かわいい…

ずっとずっと
見てたいけど、

もう…僕も
我慢できないや

ゆきの奥に
僕の印をいっぱい
注ぎ込んであげる…っ

ズリユッ
ズリユッ
ズリユッ

は、
は、
は、

は、

は、



ゆき、ゆき…っ

聞いたことない
切羽詰まった声

シロのこんな声、
聞いたことないのに

でもこの匂いは、
シロの匂いだ

あの頃と同じ、

安心する
匂い…



あとがき

おむすびころり、おむころです！

この度はお手にとっていただきありがとうございます！

初めての女性向けで、とっっっっつても悩みながら描いたので
まずは前編だけでも本の形にできてよかったです！

もともと40ページくらいの予定だったんですが、
知らないうちに前後編になっていました…
漫画…難しすぎる…

ちなみに後編は
6月のコミティア合わせで作成予定です！

頑張りまーす！

おむすび
緒結ころり 



▲SNS・既刊情報等各種リンク

怪異研究所の月見里さん

発 行：おむすびころりん／緒結ころり

発行日：2024.12.30

印 刷：  SUN GROUP
http://www.sungroup.co.jp/

表紙デザイン：たにやまや様(@taniyamaya)

✉ aburitarako.omsb@gmail.com

※ダウンロード販売時、加筆修正する場合があります。
※この本の無断複製、転写、転載を禁じます。
ご感想など、一部ページのSNS掲載は大歓迎です！
※転売はご遠慮ください。

怪異

研究所

の

月見里さん

～執着系怪異の甘々触手攻めで堕とされる～

前編

成人
指定

Presented by
おむすびころりん